

平成 25 年 10 月

各 位

通電焼結研究会
会長 後藤 孝

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

通電焼結研究会（平成 24 年度、SPS 研究会より改称）は、通電焼結法の研究者、技術者ならびに通電焼結技術にご興味をお持ちの方々に、通電焼結法を用いた材料開発について、幅広い討論の場を提供することを目的として活動しています。平成 8 年の研究会発足より、年 1 回の研究会を盛会のうちに開催してまいりました。本年の第 18 回研究会は、東北大学金属材料研究所共同利用ワークショップの一環として、下記の予定で行うことになりましたのでご連絡申し上げます。

今回は、別紙の通り、22 件の研究発表を予定しており、通電焼結法関連の情報交換に最適な機会です。お忙しい事と存じますが、是非多くの方々のご参集を賜りますようお願い申し上げます。ご参加の方は、別紙「参加申込書」にご記入の上、研究会事務局まで電子メールまたは FAX にてお申し込みください。

記

- ・ 研究会 第 18 回 通電焼結研究会
東北大学金属材料研究所 研究部共同利用ワークショップ
「外部場励起粉体粉末冶金プロセスによる材料開発の基礎と応用」
- ・ 開催日程 平成 25 年 12 月 5 日（木） 9:30～17:30（終了後、懇親会）
12 月 6 日（金） 10:00～14:30
- ・ 開催場所 東北大学金属材料研究所 講堂（仙台市青葉区片平 2-1-1）
- ・ プログラム 準備中：講演者は、別紙の通りを予定
- ・ 懇親会 秋保温泉 華乃湯（仙台市太白区秋保町湯元字除 33-1）※貸切バス移動
- ・ 懇親会費 13,000 円（宿泊費含む）
- ・ 申込期限 10 月 31 日（木）17:00 迄 ~~10 月 18 日（金）17:00 迄~~

以上

【問い合わせ先】

伊藤暁彦（第 18 回通電焼結研究会事務局内）
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学金属材料研究所 複合機能材料科学研究部門
Tel: 022-215-2106; Fax: 022-215-2107; 電子メール: itonium@imr.tohoku.ac.jp (a.itionium@gmail.com)

参加申込書

ご芳名： _____

電子メールアドレス： _____

出欠：

講演会 参加 不参加

懇親会 参加 不参加

領収書 要 不要

※ 参加費は当日現金払いになります。「通電焼結研究会」名の領収書を発行いたしますので、領収書の記載内容についてのご要望は事前に事務局までご連絡ください。

返信先：

E-mail: itonium@imr.tohoku.ac.jp

FAX: 022-215-2107

※この用紙にご記入後、FAX 頂く形でも構いません。

※電子メール本文に出欠を記載頂いた場合、本用紙は送付には及びません。

申込期限： 10月31日(木) ~~10月18日(金)~~ 17:00迄

第 18 回研究会 講演予定 (10 月 23 日現在) 順不同、敬称略、演題は仮の場合があります。

井藤幹夫 (大阪大学)

森 正和 (龍谷大学)

尾崎公洋 (産業技術総合研究所)

川原正和 (富士電波工機株式会社)

放電プラズマ焼結 (SPS)法で得られた透光性アルミナ焼結体の微細組織の比較

北川裕之 (島根大学)

周期的一軸圧力下でのパルス通電焼結による Bi_2Te_3 系熱電材料の作製 (仮題)

金 炳男 (物質・材料研究機構)

アルミナの放電プラズマ焼結中に起きる動的粒成長

黒川一哉 (北海道大学)

ナノ粉末 WC の SPS 焼結挙動

後藤 孝 (東北大学金属材料研究所)

通電焼結法による高密度 cBN 基コンポジットの作製

杉山重彰 (秋田県産業技術センター)

砂本健市 (株式会社アカネ)

竹井進一 (株式会社シンターランド)

竹内友成 (産業技術総合研究所)

通電焼結法を用いた金属硫化物複合体の作製とその電池特性 (仮題)

多々見純一 (横浜国立大学)

CNT 分散 Al_2O_3 セラミックスの放電プラズマ焼結 (仮題)

鵜田正雄 (株式会社エヌジェーエス)

南口 誠 (長岡技術科学大学)

廣田 健 (同志社大学)

高温・高強度 ($1600^\circ\text{C}/800\text{MPa}$) $\text{B}_4\text{C}/\text{CNF}$ セラミックスのパルス通電加圧焼結による作製

堀田幹則 (産業技術総合研究所)

非晶質窒化ケイ素ナノ粉末の SPS 焼結

巻野勇喜雄 (有限会社 MSP)

SPS 成形した Al/ダイヤモンド複合材料の熱物性に及ぼすダイヤモンドのバイモーダルな粒度分布の影響

村松尚国 (日本ガイシ株式会社)

SPS 法を利用した亜共晶 Cu-Zr 合金線材の開発 (第二報)

森 孝雄 (物質・材料研究機構)

SPS を活用した熱電変換材料の開発

酒井章裕 (パナソニック(株))

SPS 法を用いた熱発電チューブの作製

Marta Ziernicka-Sylwester (北海道大学)